

「JIS G 5502 (球状黒鉛鑄鉄品) 改正のポイントについて」をテーマに 埼玉県鑄物技術講演会



オンラインと現地で行われた



講師の鹿毛氏が講演

「第565回埼玉県鑄物技術講演会」が12月8日に、埼玉産業技術総合センター(SAITE)にて、埼玉県鑄物技術センター(C.川口市上青木)4階会議室で開かれた。主催は埼玉県・川口鑄物技術センター。

「JIS G 5502 (球状黒鉛鑄鉄品) 改正のポイントについて」をテーマに、講師の(株)下レアメタル研究所の鹿毛彦彦氏が講演。昨年、球状黒鉛鑄鉄品のJIS規格が改正されたことから、どう変わったのか等改正のポイントについてわかりやすく解説した。

主に鑄物工場の従業員、技術者、経営者を対象にした内容で、オンラインで30人、現地で10人の計40人が参加した。

「第254回埼玉県鑄物技術講習会」が1月30日・31日18時30分〜20時30分に、埼玉産業技術総合センター(SAITE)4階(E.C.川口市上青木)4階会議室で開かれる。主催は埼玉県鑄物技術委員会。

「鑄造品の超音波試験の基礎講座」をテーマに、鑄造品の超音波探傷試験について基礎的な理解を深めるために、操作方法の解説と実演、実用

性について2日間の講習会を行う。

講師は元埼玉産業技術総合センターの永井寛氏。

主に鑄物工場の従業員、技術者、検査員を対象にした内容で、定員は20人。参加費無料。

申し込み締め切りは1月26日。申し込み・問い合わせは鑄物組合・組合支援課(☎048・222・46200)へ。

埼玉県鑄物技術講習会



川口商工会議所は「令o(いいもの)・川口i(いいもの)」を12月20日に開いた。

川口商工会議所は「令o(いいもの)・川口i(いいもの)」を12月20日に開いた。市内の高い技術力やノウハウを生かした優れた製品を川口市の「ものづくりブランド」として認定していく。「川口i mono(いいもの)ブランド認定制度」は平成21年度から開始。平成26年度には、優れた製品を生み出すための高い技術や技能を認定する「川口i waza(いいわざ)ブランド認定制度」が創設された。

これらの制度は、川口の伝統と信頼の証として川口市の「ものづくり」を象徴していくよう認定した優良製品や技術、技能に対し展示会や広報等のPR活動、販路拡大や品質向上への支援を行うことにより、その製品技術、技能の魅力が更に高まること、ものづくり都市「川口」の知名度の向上等を目的としている。

認定式には認定企業の代表者や関係者など46人が出席。令和4年度は新たに3製品・7技術が加わり、これまでに68製品・45技術の全113ブランドを認定した。認定企業は次の通り。

【暮らしにまつわるいいもの】▼伊藤超短波(株)【ビジネスを広げるいいもの】▼大宝化学工業(株)▼テクノコア【伝統が育んだいいもの】▼川口i mono(いいもの)ブランド認定制度

銅合金鑄造による特殊部品製造技術 令和4年度ブランド認定技術として認定

木村銅合金



細野会頭から認定証を授与された木村社長(写真左)

川口鑄物工業協同組合(川口i-waza)ブランド認定協議会会長が総評。続いて各社の代表者へ、細野会頭から認定証が授与された。来賓として奥ノ木信夫川口市長も駆け付け、激励の挨拶を行った。

川口鑄物工業協同組合(川口i-waza)ブランド認定協議会(川口i-waza)の「銅合金鑄造による特殊部品製造技術」が、令和4年度ブランド認定技術として認定された。

銅合金鑄造による産業機械部品、重電関連部品、高圧バルブ、防暴工具、景観材等の鑄造を行って

いる同社。特徴としては「異なる材質や仕様の違う製品など様々なニーズに対応するため、基礎技術や知識の確立に始まり、応用力や人間の五感などを用いて粘り強く取り組み、質の高い製品をつくり上げる対応技術力だと思ふ」と木村社長。

顧客の要望により成分調整が可能で、配合する原材料や融点により均一組織の銅合金材質をつくる金属精錬技術を持つ。さらに非接触型X線分析器により成分分析を提示し、品質の徹底を行う。成分分析で確かな品質をスピーディに顧客に提供していることも評価されている。

木村社長は「今回技術を認定していただいたことに恥じないよう、さらに高い技術力の向上に努め、弊社にしかできない製品づくりに取り組んでいく」と今後への意気込みを語った。

○川口i-wazaブランド認定協議会会長が総評。続いて各社の代表者へ、細野会頭から認定証が授与された。来賓として奥ノ木信夫川口市長も駆け付け、激励の挨拶を行った。

川口鑄物工業協同組合(川口i-waza)の「銅合金鑄造による特殊部品製造技術」が、令和4年度ブランド認定技術として認定された。

銅合金鑄造による産業機械部品、重電関連部品、高圧バルブ、防暴工具、景観材等の鑄造を行って

川口鑄物工業協同組合(川口i-waza)ブランド認定協議会(川口i-waza)の「銅合金鑄造による特殊部品製造技術」が、令和4年度ブランド認定技術として認定された。

銅合金鑄造による産業機械部品、重電関連部品、高圧バルブ、防暴工具、景観材等の鑄造を行って

創刊64年

2023年・卯年

迎春

今年もお引立てのほどよろしくお願ひ申し上げます

第767号



株式会社エヌテック

鉄鉄・故鉄・鋼屑・合金鉄・非鉄金属・建材・電気炉・工場建設・鑄機部品省エネ型照明

代表取締役社長 中野行雄

本社 東京都中央区入船一丁目四一〇番地
 関東支店 川口市本町一丁目一八二番地
 電話 048(222)1181(代)
 FAX 048(222)1185

〈新商品〉お困りではないですか

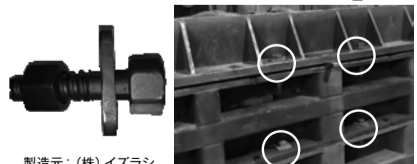
特許申請中

鑄鉄鑄物の複合商社 DAISEN 大銃産業株式会社 が鑄造メーカーが手掛けた【砂噛み防止用ボルト・ナット】の販売サポートを提供致します

【金型の締め付け作業の改善アイテム】

- ・作業効率の改善(着脱スピードUP)
- ・寿命が長い
- ・荷重(強度) 30t

鑄造メーカーのノウハウが集約されています



製造元: (株) イズラン
 (特徴)
 ①多くの砂(粒径問わず)がナット内に入ってもナットの着脱が可能
 ②平均粒径484μm以下の砂であれば、大量の砂がナット内に入っても砂噛み起きない

大銃産業株式会社 東京支店 鑄物部
 東京都中央区日本橋小舟町11-7ダイセンビル TEL:03-5652-7880
 URL:https://www.daisensangyo.co.jp/

鑄物業界のニーズにお応えする



草野産業株式会社

本社 東京都中央区銀座3-9-4
 関東支店 川口市本町4-1-8
 川口センタービル4階
 電話 048-227-0561
 FAX 048-227-0588

- ・鑄物用原燃料
- ・鋼材・超硬工具
- ・鑄造プラント
- ・純鉄・非鉄金属
- ・輸出入製品取扱
- ・鑄造用設備機器
- ・合金鉄・炭素材料
- ・鑄造関連技術サービス
- ・高欄・景観材料

コークス・鑄造原料
 石油製品・交通安全用品



株式会社 吾妻商会
 原燃料部

取締役執行役員 富田 敬一
 原燃料部門統括

〒104-0031 東京都中央区京橋2-5-18 京橋創生館7階
 TEL 03-3528-6872
 FAX 03-3562-6205
 http://www.azuma-syokai.co.jp